「元気発進!子どもプラン(第2次計画)」個別事業の評価一覧

■ this is	を(な) 仕事を生活	の調和(ワーク・ライフ・バランス)の推進	事	業		Ø			評			価		予	算	担当課	
- 地名	(5) 江季2至治	の調和(ワーク・ライフ・ハランス)の推進 【Plan】計画				【Do】実	ŧ					【Check】評価	【Action】改善	予算・3	次	※太字が評	
施策 事業番号 番号	事業名	事業概要	令和元年度の 事業計画	令和元年度の主な実績	活動指標	区 27年度	28年度	29年度	30年度	令和元年度	評価	5ヵ年 評価の理由	次・ 連成 概ね連成 単題や改善内容	予算 事務事業名	3次プラン 取り組み No.	価を記載した 課	
	北九州市女性 活躍・ワークラ イフパランス 推進協議会の	・州市女性 全国に先駆けて、企業・働く人・市民・ ロークラ (行政が一体となって設立した「北九州 カ文性活躍・ワークライフバランス推進 ②企業等への出協議会」を中心に、仕事と生活の調和 前セミナーの実施 (②・フ・フ・フ・フ・フ・フ・フ・フ・フ・フ・フ・フ・フ・フ・フ・フ・フ・フ・フ		①15社 ②13社	研究会・企業への助言等	日本年 27件	37件	38件	39件	40件		(分析) ・企業へのアドバイザー等の派遣や各種セミナーの開催等の活用件数がほ	(課題) ・女性活躍推進法上の協議会組織である「北九州市女性活躍・ワークライフバランス推進協議会、を中心とした市内推進体制をより充実する必要がある。	ワーク・ライ		裁赛
1 77	運営(仕事と 生活の調和 (ワーク・ライ フ・バランス) 推進事業)		③ダイハーンディ ネットワーク活動 ④女性活躍推進 取組支援事業	320 420 550	24件 (H26年度) (日標) (日標) 40件 (令和元年度)	*** 36件 達成率 133%	33 / ‡	35件 92%		概ね建成	が進んでいるため、「概ね達成」と判 断。	【改善】 ・市内企業等の意見を踏まえながら、 効果的な推進体制について検討、改善 善する。	フ・バランス 推進事業	178	女性活躍推進課		
						建計 成成日 年	89%	92%	92%	93%							
	ワーク・ライ フ・バランス表	子育て支援や男女が共に働きやすい			表彰企業数(累計)	日単午 都皮 55社(ノ	、) 60社(人)) 65社(人)	70社(人)	75社			【課題】 ・引き続き受賞企業のインセンティブを				
	彰の実施(仕事と生活の調和(ワーク・ラ	環境づくり等に取り組む企業・個人等を 表すし、お手本としてその内容を広く紹 表することで、企業等事業者や市民が ワーク・ライフ・パランスに取り組むよう 働きかける。	市女性活躍・ワー クライフバランス	①企業3社、個人1 人の計4社(人)に 表彰	累計 50社 (H26年度) [日標] 75社(累計)	* 54社(人 達成 98%	100%	98.5%	97.1%	72社(人) 96%	概ね達 成	女性活躍・ワークライフパランス表彰も 着実に受賞企業が増加し、ほぼ目標 通りの表彰数となっているため、「概ね 達成」と判断。	【改善】 ・受賞企業に関する情報発信の機会を	ワーク・ライ フ・バランス 推進事業	179	総務・ 女性活躍推 進課	
	八正是事業/				(令和元年度)	連計成日本 72%	80%	85.3%	90.7%	96%			充実する。				
	でのワーク・ラ	企業等の事業者に対して、仕事と子育 て等との両立への理解促進や働きや すい職場環境づくりを働きかける。ま た、毎年11月をワーケッイフィ・パラン	①WLB推進アドバ イザー派遣事業 の実施 ②企業等への出	①15社	研究会・企業への助言等	1日単年 27件	37件	38件	39件	40件		・企業へのアドバイザー等の派遣や各	【課題】 ・ワーク・ライフ・バランスの実現にあたっては、企業の果たす役割が大きく、女性活躍推進法を踏まえ、両立環境の整備、学性栄養員の人材育成双方の視点から企業をサポートしていく				
1 79	援(仕事と生 活の調和 (ワーク・ライ	ス推進月間とし、その意義や必要性を 企業等事業者や市民に周知する。 〇ローク・ライフ・パランス推進アドバイ ザー派遣事業 〇企業等への出前セミナー	前セミナーの実施 ③ダイバーシティ ネットワーク活動 ④女性活躍推進 取組支援事業	320	(現状値) 24件 (H26年度)	実単 領皮 36件	33件	35件	36件	37件	概ね速 成	種セミナーの開催等の活用件数がほぼ目標どおりで、企業等の取組支援が進んでいるため、「概ね達成」と判断。	必要がある。 【改善】 ・企業ニーズをきめ細かに把握しながら、サポート策を充実するとともに、平	ワーク・ライ フ・バランス 推進事業	180	総務・ 女性活躍推 進課	
	推進事業)	〇子ども参観日 〇ワーク・ライフ・バランス新聞の配布	取組支援事業 ⑤北九州イクボス 己布 同盟研修会等	⑤5回	40件 (令和元年度)	達成 133%	89%	92%	92%	93%			成29年度に設立した「北九州イクボス 同盟」などを活用し、企業等の働き方 改革を後押しすることで、ワーク・ライ フ・バランスの推進を図る。				
						連計 成日 年標	89%	92%	92%	93%							

		/=\ / /		事	業			o			評			価				予	算	担当課
■ 旅	施策	(5) 仕事と生活	の調和(ワーク・ライフ・バランス)の推進 【Plan】計画				[Do	>】実施						【Check】評価		[Ac	tion]改善	予算:0	次	※太字が記
施策署	事業番号	事業名	事業概要	令和元年度の 事業計画	令和元年度の主な実績	活動指標	区 分 2	27年度 28:	年度 29:	9年度 :	30年度	令和元年度	評価	5ヵ年 評価の理由 (分析)	次	達成 概ね達成 やや遅れ	果題や改善内容	予算 事務事業名	3次プラン 取り組み No.	価を記載し課
						ワーケ・ライフ・ハイフ・ハーケーライフ・ハイフ・ストでは、インシストでは、日本 職員の部分には、日本 はは、北京の市場は、大学の市場は、日本 (日本) (日本) (日本) (日本) (日本) (日本) (日本) (日	標準標	- 72 	及定な 標語 し 2.4% 70	設定な で 0.8% ア ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	課設定な し アンケート 未実施		-		【課題】 ・仕事の責任を果たす一方で子育で特 介護、地域活動、自己啓発等に係る時					
			戦員のワーク・ライフ・バランスを推進	①ワーク・ライフ・ バランス推進月間 の実施	①1回	部課長級の多面評価 「イクボス10か条」を 実践できている管理 職の割合 (現状値)	日単一十四	年度目 単年 設定な 標設 し				単年度目 標設定な し		・アンケートは未実施であるものの、 「イクボス10か条」を実践できている管理職の割合、男性職員の育児休業等	間を持てる ランスの実 実な要望で	きてるようにするワーク・ライフ・バスの実現は全ての職員にとって切要望であり、従来の働き方を見直	Š J			
1 8	80	フ・ハランスの	するため、令和元年5月に策定した「北 九州市職員女性活躍・ワークライフバラ ンス推進プログラム」に基づき、各種研 修や啓発活動等による職員の意識改		②8部署	88% (平成27年度)	実年 経度	88.0% 93	3.4% 94	4.0%	94.2%	94.7%	概ね達 成	理機の制合、男性職員の目光が未等 取得率は目標を上回っており(男性職 員の育児休業取得率のみで27.8%と なっており、達成率は最高値を更新予	【改善】		リア形成や仕事と生			総務・ 女性活躍 進課
		推進	修べ各先活動寺による戦員の息談は 革、仕事の見直し・改善、仕事と子育で の両立支援等について取り組む。	・③働き方見直し実践部署コンサル 残部署コンサル ティング(IBWLB 実践モデル部署 研修)の実施	③3部署 実	90% (令和元年度)	達成率	- -	_ -	_	-	-		はつくのり、達成学は取局値を受制すた。 定)、市役所におけるワーク・ライフ・バランスが進んでいるため「概ね達成」と 判断	活の両立等を後押しするため、男性	押しするため、男性の 引き続き推進する。			ABST	
							注成率 (97.8% 103	3.8% 10-	04.4% 1	104.7%	105.2%	1	ום ניד	き方ができるよう、利便性を高めた新たなテレワークシステムを構築・運用し、ワーク・ライフ・バランスの取組を推進する。					
						男性職員の育児 休業等取得率		年度目 単年 設定な 標設 し	设定な 標設								ティ推進事業			
						「現状値」 7.5% (H26年度)	事 単年度	8.8% 13	3.2% 15	5.4%	22.9%	27.8%								
						[目標] 20% (令和元年度)	達成率			-	-	-								
							进成车標	44.0% 66	6.0% 77	7.0% 1	114.5%	139.0%	1							
						女性の就業率 (25~44歳)	日年度			単標	年度目 課設定な し	単年度目 標設定な し			【課題】	就業才	女性の就業ニーズや			
		働き方改革先	企業における短時間勤務の導入や潜在労働力の活用などの新しい働き方の		①意識啓発プログ ラム5回	(明(值) 65.9% (H22年国勢調 杏)	単年度 東線							求人側、求職側双方に向けた意識啓 発や未就業女性向け意識啓発プログ ラム、女子中学生向け理工系職業体	子育て等とた就業支持	の両す	などの課題をふま	₹ 5		
1 31	313	働き方改革先 3 進都市事業 【H30~】	副出や未筑業女性向け就業文接、女子中学生向け理工系職業体験プログ う人の実施等、将来にわたっての多様な働き方の実現を推進する。	事業 ②「理エチャレン	リ急減谷光ノログラム5回	70% (H31年度)	達成率						献 成	験プログラムの実施などにより、企業への新しい働き方の浸透や女性の就業意欲喚起などに一定の効果を得たことから「概ね達成」と判断。	【改善】 子育て中の 等での意識)女性 戦啓発	プログラムの実施や	進都市事業		総務·女性 職権進課
1 3			在労働力の活用などの新しい働き方の 創出や未就業女性向け就業支援、女 子中学生向け理工系職業体験プログ ラムの実施等、将来にわたっての多様			査) [日柳] 70%	\perp						概ね達 成	ラム、女子中学生向け理工系職業体験プログラムの実施などにより、企業への新しい働き方の浸透や女性の就業意欲喚起などに一定の効果を得た	た就業支援やキャリア教育を実施する必要がある。 【改善】 子育て中の女性の集まりやすい施設 等での意識啓発プログラムの実施や、 女子中学生向け理工系職業体験プログラムの充実を図る。		働き方進都市	働き方改革先 進都市事業		

th th	(5) 仕事 k 生活	の調和(ワーク・ライフ・バランス)の推進	事	業			Ø			評			価		予算	担当				
池米	(O) LTPCIA	(Plan)計画				[D	○]実施						[Check]評価	【Action】改善	予算・3次	※太字				
表 事業 号 番号	事業名	事業概要	令和元年度の 事業計画	令和元年度の主な実績	活動指標	区分	27年度	28年度	29年度	30年度	令和元年度	評価	5ヵ年 評価の理由 (分析)	次 様和達成 板ね達成 やや遅れ	予算 事務事業名 取り N	目み				
					【现状值】	標生	前年度以 上 (203社)	前年度以 上 (229社)	前年度以上	前年度以上	前年度以上									
				①市の入札参加資 格業者に対する評 価対象業者数	203社 (H26年度)	実 様 度	229社	395社	599社	741社	802社									
81	有資格業者の 登録における 社会的責任・	進寺の収組を慎極的に計画するため、	格業者のうち、ワーク・ライフ・バ	(物品等供給業者) H27年度:69社 H28年度:235社 H29年度:243社 H30年度:339社	前年度以上	違成率	113.0%	172.5%	151.6%	123.70%	108.23%	達成	・物品等供給業者及び建設工事業者 ともに評価対象企業数は増加し、ワー ク・ライフ・パランス等の推進に一定の	・地元企業のワーク・ライフ・バランス等 の推進を契約制度の面からも支援す るため、引き締ぎ加占制度を実施す	予算なし 18	1 技! 契約制				
1 81	は会責献の評価	観点の評価項目の一つとして「子育で 支援・男女王同参画」を設け、要件を満 たす場合に加点する。	フンス等の推進を 行っている地元企 業の増加を図る。	R1年度:345社		達成率	113.0%	172.5%	151.6%	123.70%	108.23%		寄与はできていると考える。	らたが、JICがCCがは、かりたで大ルサイ						
家族経営協	家族経営協定 の推進	農家の意識改革を進めるため、家族 全員の話し合いによって、休日・絵料や 仕事の分担などの取り決めを定める家族経営協定制度の普及・啓発を図る。	①農業生産者が 集まる場にて啓発 を行う。	①農業生産者が集まる会議等で啓発を行った。 経 ※今後は農家の要ご 望に応じ対応することとし、推進目標は 廃します。	家族経営協定総 結数(延べ数)	8日 日標 日標	68件	69件	71件	71件	71件	達成	家族経営協定制度の浸透が深まり、 当初目標を1割以上上回る結果となっ た。	・本市の農業の振興のため、経営現状 と労働実態を改善することは必須であ る。その中でも家族間の労働条件の整 備は不可欠であると考えている。その ため、今後も事業の推進が必要である	予算なし	産業農村				
					67件 (H26年度)	実績度	67件	67件	77件	7件 77件 80	80件			と考えている。 ・農業生産者が集まる場にて、積極的 に啓発活動を行いたいと考えている。						
					^[日排] 71件 (H29年度)	達成率	99%	99%	108.5%	108.5%	112.7%									
						達成率	94%	94%	108.5%	108.5%	112.7%									
	育児参画促進 (男女共同参				ムーブ・レディスで の男性向け家事・ 子育て関連講座開 催数 【現状値】	日東	15講座 程度	15講座 程度	15講座 程度	15講座 程度	15講座 程度									
育 (男 2 83 画 び ン		家族を構成する男女が共に協力しなが っ、家庭での責任を果たしていくため、 男性が仕事だけでなく、子育て等にとも	ンター・ムーブ、勤 労婦人センター・		21講座 (H26年度)	実 様 皮	15講座	17講座	17講座	17講座	15講座		・計画期間中すべての年度において、第中時の計画を行っての工程を	・引き続き、ムーブ・レディスでの男性 向け家事・子育て関連講座を実施し、 男性のよう等でなどへの参画促進	男女共同参 画センター及 び勤労婦人	. #3				
	び勤労婦人セ	に参画し、家庭等において積極的に役割を果たせるよう支援する。 の男女共同参画センター・ムーブ等での男性向け家事・子育て関連講座	て、男性向け家	15講座、904人	毎年15講座程度	達成率	100.0%	113%	113%	113%	100.0%	達成	策定時の計画目標を上回っているため。	に向けた取組を進める。 ・参加者アンケートやトレンドなどを踏まえ、事業・講座の内容などの見直しの検討を随時行う。	ひ刻力が入 センター管理 運営事業(指 定管理)	2 男女#				
											達成率	100.0%	113%	113%	113%	100.0%				

			事	業			Ø			評			価		予算	Į	担当課
■ 旅	5 (5) 仕事と生活	の調和(ワーク・ライフ・バランス)の推進 【Plan】計画				[Do	o]実施						[Check]評価	[Action]改善	予算・3次		※太字が
策等	業 事業名	事業概要	令和元年度の	令和元年度の主な実績	活動指標								557 A TO 10	次達成 課題や改善内容		ブラン 相み	がなった。 面を記載し 課
号音	号 平木口	甲未规文	事業計画	市和ルギ及の主な大概		分	27年度	28年度	29年度	30年度	令和元年度	評価	評価の理由 (分析)	概ね達成 やや遅れ		lo.	Life.
					「男女共同参画 フォーラムin北九 州」「男女共同参画 に係る広報啓発事業」の実施回数 「現状値」	i # 年 (6	前年度 3回)同 水準	前年度同 水準	前年度同水準	前年度同水準	前年度同水準	-					
	地域における34 男女共同参画	地域における男女共同参画の推進を 図るため、地域で活動している団体・グ ルーブ等と協働しながら、市民や若い 世代が共感できる広報啓発活動に取り 組ま、	フォーラムin北九	①37回、3,056人	63回 (H26年度)	実績 疾	63回	65回	68回	62回	65回	達成	・計画期間中すべての年度において、 策定時の計画目標を上回っているた	・引き続き、北九州市女性団体連絡会 議と協働で「男女共同参画フォーラムin 北九州」を開催する。また、NPO等と 協働で広報啓発事業を実施する。	地域における男女共同参	83	裁務· 男女共同
		〇男女共同参画フォーラムin北九州開催支援	②男女共同参画 に係る広報啓発 事業を実施する	②28回、1,118人	同水準	達成 1	100.0%	103%	108%	98%	103%		果た时の計画日保を工画づているだめ。	画劇とはなった学校と大連でもの。 ・さらに幅近い層の市民の参加を促す ための効果的な事業広報や実施内容 の見直しを行う。	画推進啓発 ***		カスス向 画推進記
						进成率 相	100.0%	103%	108%	98%	103%						
		別にかかわらず個性と能力を発揮して	びき愛」を配布し、 教育委員会と連	・ ツ」、中学生用「ひ びき愛」を配布」	副読本配布率 (现状值) 配布 (H25年度)	^{日年} 現	状維持	現状維持	現状維持	現状維持	現状維持	:	・計画期間中すべての年度において、 策定時の計画目標を上回っているた め。				
副読本	小中学生向け副読本作成活					実績度	配布	配布	配布	配布	配布			・引き続き副読本を作成・配布する。	男女共同参画基本計画		総務 男女共
8	用事業(男女 共同参画基本 計画推進事 業)	いいるよう、小中于エ門の副説本の店			現状維持	達成率	100%	100%	100%	100%	100%	達成		* りさ枕さ削減やを下戍・配布する。	■基本計画 推進事業の 一部		画推進 改育・指 一詞
						进版 建成率 標	100%	100%	100%	100%	100%						
			①男性向け子育	①国、県、市が作成	男性向け情報記 の配布	日 年 度	配布	配布	配布	配布	配布		情報誌を配布し、妊娠・出産・子育て				
	公割にたる↓	子育ては、一人一人の子どもの成長 に寄り添うまたとない機会である。 男性に育児をより楽しんでもらうた			【現状値】	実績 度	配布	配布	配布	配布	配布 配布			・引き続き、情報誌を配布し、男性に妊	予算なし 184		子家
8	分親になる人 への情報発信	め、妊娠、出産、そして子育てに関する 情報を父親の目線で発信する。		した男性向け子育 て情報誌を配布。	配布	達成率	-	-	-	_	_	達成		娠・出産・子育でに関する情報を発信 する。		84	子育で支票
						进版 定成率 標	-	-	-	-	_						
			「①子育てふれあ い交流プラザでの 開催(10月) ②子どもの館での		男2代の子育で 講座の開催回数	女婦をと		前年度比 同水準	前年度比 同水準	前年度比 同水準	前年度比 同水準						
て講座(子ど もの館・子育 てふれあいる	男2代の子育 て講座(子ど まの館・子育	1歳未満および1年以内に誕生予定の 子の父親または祖父を対象に、助産師 や看護師、子育て支援関係者を講師に 迎え、育児に必要な実習を交えた体験			2回 (H25年度) (日本) 現状維持	実 維 検 皮	20	20	20	20		振わき	令和元年度は子どもの館において非 開催となったが、毎年、両施設で開催 できているため、「概ね達成」とした。	・より多くの講座受講者を確保するため、引き続き指定管理者と協力し、魅	子どもの館・ 子育てふれあ		子#
	流プラザ運営	型講座を実施し、男性が子育でに参画 することの意義や効果を伝える。 また、講座終了後には「パパシエ」「ソフ				達成率	100%	100%	100%	100%	50%	成		力的かつ効率的な講座の開催に努める。		85	総務企
		リエ」の認定証を授与する。				建成率 標	100%	100%	100%	100%	50%						